

指定管理業務評価表

施設名	小牧市歴史館		
対象年度	平成27年度	評価担当部	教育委員会事務局
指定管理者名	小牧市施設活用協会		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
職員体制	常勤職員：1人	非常勤職員：2人	合計：3人

1. 利用実績

(1) 利用者数

		歴史館			総計
		個人	団体	計	
4月	大人	5,914	649	6,563	9,038
	小人	2,271	204	2,475	
5月	大人	5,274	771	6,045	8,113
	小人	1,570	498	2,068	
6月	大人	633	119	752	961
	小人	206	3	209	
7月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
8月	大人	0	0	0	0
	小人	0	0	0	
9月	大人	645	0	645	771
	小人	126	0	126	
10月	大人	3,085	386	3,471	4,759
	小人	1,283	5	1,288	
11月	大人	4,095	617	4,712	5,830
	小人	1,112	6	1,118	
12月	大人	1,845	344	2,189	2,760
	小人	567	4	571	
1月	大人	3,159	773	3,932	5,307
	小人	1,326	49	1,375	
2月	大人	2,595	704	3,299	4,183
	小人	884	0	884	
3月	大人	3,972	1,332	5,304	7,405
	小人	2,035	66	2,101	
合計	大人	31,217	5,695	36,912	49,127
	小人	11,380	835	12,215	
年計	計	42,597	6,530	49,127	-
前年比		67.1%	119.6%	71.3%	-

(2) 増減要因

平成27年度は、歴史館耐震改修工事のため、6月8日（月）から10月15日（木）まで（ただし、9月26日（土）はこまき信長夢夜会等による臨時開館）129日間休館したことにより、入館者数が大幅に減少した。しかしながら、近年、史跡小牧山主郭地区発掘調査の成果がメディアに多く取り上げられることで、小牧山や発掘調査への関心が高まっていることや、企画展・甲冑試着会などの自主事業が好評を得ていることなどの要因から、休館後の入館者数は昨年度と比べて増加した。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成27年12月5日～12月20日	回答数	53名
利用者の主な意見	市外からの来館者は、62%と半数以上を占めており、利用頻度については、半数の来館者が初めてと回答している。職員の対応については、92%の来館者が満足（やや満足）と回答している。施設や設備については、92%の来館者が満足（やや満足）と回答しており、中でも、小牧・長久手の合戦ジオラマが好評である。その他では「信長関連の資料、パンフレット等を準備してほしい」といった意見があった。		
具体的な対応状況	受付や館内1階に、小牧市教育委員会で発行している「小牧山城主郭地区発掘調査パンフレット」「小牧山城 歴史探訪ガイド」などのパンフレットを常時設置。		

3. 収支の実績

（単位：千円）

		26年度 (前年決算額)	27年度 (現年決算額)	28年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	21,795	20,653	22,349	
	合計	21,795	20,653	22,349	
支 出	人件費	11,441	10,386	12,308	
	需用費	3,907	3,937	3,012	消耗品費、燃料費等
	役務費	122	101	142	通信運搬費等
	委託料	2,387	2,497	2,721	企画展示業務委託料等
	使用料及び 賃借料	313	252	313	モップ及びマット借上料等
	原材料費	48	11	50	
	負担金及び 補助金	0	0	1	
	報償費	175	41	150	歴史館ガイド等謝礼
	事務局費按 分	3,402	3,428	3,652	
	合計	21,795	20,653	22,349	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	・法令等の遵守、報告書等の提出、個人情報の取扱は適切に実施されている。現金の管理については、鍵の保管方法などについて、引き続き、適切に扱うこと。
維持管理業務	・施設・設備の点検・保守は確実に行われている。 ・不審者等に対して、適切な対応ができるよう、引き続き、訓練を強化すること。
サービスの質	・利用者アンケート調査の中で、職員の対応については 92%以上が満足（やや満足）と回答している。利用者がより快適に施設を利用できるよう考慮して、日々の業務にあたること。
収支状況 及び 経費節減	・引き続き、経費削減を意識し、施設管理にあたること。
その他 （緊急時の対応等）	・火災時、災害時の適切な対応ができるよう、引き続き、消火・防災訓練を強化すること。